

令和2年(2020年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年3月 数量 (トン)	2020年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。暖冬の影響により、順調な出荷となり、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	542	75	105%	104%
2		キャベツ	愛知県産・千葉県産中心の入荷でした。主要産地が全体的に前進出荷となっていた影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	993	104	97%	160%
3		きゅうり	宮崎県産・群馬県産・埼玉県産・茨城県産中心の入荷でした。入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	376	363	106%	109%
4		ほうれん草	茨城県産中心の入荷でした。2月から3月上旬にかけて前進したため、3月中旬以降は数量減となり、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	83	512	77%	133%
5		馬鈴薯	九州産は2月後半から3月中旬まで鹿児島県内が降雨続きであった影響により、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	308	140	80%	128%
6	果実	伊予柑	産地の生産量は減少しましたが、他市場からの集荷を強化し、入荷量は大幅に増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	126	231	165%	93%
7		ふじ	前進出荷の影響により、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	362	337	134%	146%
8		いちご	九州産は前進出荷により数量増となりましたが、関東近在は栃木県産をはじめ、着果不良のため数量減となり、全体的に入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	181	1,331	93%	96%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上